

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	血液安全・安定供給等推進事業			<b>担当部局</b>	医薬食品局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成25年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	血液対策課		課長 浅沼 一成			
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	施策目標 I-7-1 健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること					
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成25年7月23日厚生労働省告示第247号)</li> <li>・献血の推進に関する計画(平成27年3月27日厚生労働省告示第184号)</li> </ul>					
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	血液製剤の安全性向上、献血によって得られた血液による国内自給の確保、血液製剤の安定供給の確保及び適正使用の推進を図る。									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の発生等を踏まえた血液製剤の安全体制の強化</li> <li>・献血に対する意識の向上・献血者が安心して献血できる環境の整備</li> <li>・血漿分画製剤の国内自給体制の整備</li> <li>・医療機関における血液製剤の使用実態の把握と適正使用に向けた体制整備</li> </ul>									
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負									
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	-	135	127	138				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	0	135	127	138	0			
	執行額	-	89	86						
	執行率(%)	-	66%	68%						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	27年度		
	毎年度、血液不足が生じないよう、需給予測に沿って必要な血液を確保する。	毎年度、献血により確保された血液	成果実績	万ℓ	204	200	195			
			目標値	万ℓ	208	205	205	199		
			達成度	%	98.1%	97.6%	98.5%			
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込				
	毎年7月に実施される「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスターの配布	活動実績	枚	40,873	39,523	38,533				
		当初見込み	枚	40,873	39,523	38,533	38,943			
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込				
	X:執行額全体(円)/Y:確保された血液量(万ℓ)	単位当たりコスト	円	-	446,900	423,600	692,497			
		計算式	X/Y	-	89,380,049/200	85,567,236/202	137,807,000/199			
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	<b>費目</b>	27年度当初予算	28年度要求	<b>主な増減理由</b>						
	諸謝金	2								
	職員旅費	6								
	委員等旅費	4								
	医薬品審査等業務庁費	64								
	医薬品等試験調査委託費	62								
	計	138	0							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	血液製剤は医療にとって必要不可欠なものであり、その血液製剤の安全性の向上、安定供給、適正使用の推進を図るための事業を実施することは、血液法に規定された国の責務である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	血液法の規定する国の責務を果たすため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	血液製剤の安全性の向上・安定供給・適正使用の推進を図るための事業の実施は、国民の保健衛生の向上を図るうえで優先度の高い事業と考える。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	随意契約もあるが、少額随意契約のみであり、また、競争性を確保するため、一般競争入札及び企画競争も利用し支出先を選定している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	コスト削減に努めており、妥当な水準である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途については、必要な経費に限定して支出している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	国内自給率の低い血漿分画製剤の自給率を上げるための委託事業(特殊製剤国内自給向上対策事業)で、医療関係機関への協力が進まず、ワクチン接種者数の実績が予定を大幅に下回ったため不用が発生した。また献血推進運動中央連絡協議会等の開催にあたり経費を節減した結果として不用が発生した。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	血液不足が生じてないことから、成果目標に対する成果実績は見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みとおりの活動実績である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	「愛の血液助け合い運動」に協力いただく都道府県その他関係機関等に幅広く広報ポスターを配布することにより、国民に周知を図り、夏場に減少しがちな献血量の確保を可能としている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果	当該事業は、血液製剤の安全性の向上・安定供給・適正使用の推進により、国民の保健衛生の向上を図ることを目的として行っているものであり、事業内容及び支出先について適切であると考え。また、成果実績である血液確保量は過去3年とも目標量の95%以上を達成しているとともに、活動実績についても毎年7月に実施する「愛の血液助け合い運動」において啓発宣伝用ポスターを3万5千枚以上配布し、積極的に広報を行うことによって、夏場に減少しがちな献血量の確保を可能にしており、成果実績、活動実績ともに適正であると考え。	
	改善の方向性	現状、目標とすべき血液確保量は国内の献血により確保できているが、今後、少子高齢化に伴って若年層の献血者数も減少していくことが予想される。そのため、将来の献血基盤を支える若年層に献血の意義等を理解してもらい、将来にわたって献血に協力してもらうためにも、ポスターを含め効果的な啓発活動の充実を図っていく必要があると考える。	
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			

備考

・平成24年6月21日に開催された厚生労働省行政事業レビュー公開プロセスにおいて「廃止」と判定された「血液製剤対策事業」(事業番号170)について、公開プロセスにおける議論並びに血液法における国の責務を踏まえ、「血液製剤対策推進事業」(事業番号171)とともに事業の見直しを実施。

[コメントの結果]事業の廃止

[とりまとめコメント]

6名全員が見直しが不十分とのご判断。うち3名が「廃止」、2名が「抜本的改善が必要」、1名が「一部改善が必要」とのご判断。

集計結果を踏まえ、とりまとめとしては「廃止」とする。

一方、今日の議論の中でも、事業の必要性や見直しの余地等に関するご意見も頂いた。

血液法に国の責務が規定されていることも踏まえて、大臣始め他の政務とも相談して対応していきたい。

・「成果目標及び成果実績(アウトカム)」欄、「活動指標及び活動実績(アウトプット)」欄の平成23、24年度欄の数字は、過去の事業の実績(見直し後の継続事業)である。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	226	平成23年度	204	平成24年度	171	
平成25年度	新25-013	平成26年度	213			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
85.6百万円

血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針等に基づき、国として必要な措置を講ずる。

【支出委任】

A. 国立感染症研究所  
15.8百万円

NATコントロールサーベイ事業  
感染症安全対策体制整備事業

【一般競争入札・随意契約】

B. 民間企業14社  
21.9百万円

献血推進普及に関する事業

【企画競争】

C. 日本赤十字社  
1.6百万円

特殊血液調査事業

【委託】

D. 都道府県7県  
2.0百万円

高校献血教育推進事業

【企画競争】

E. 日本赤十字社  
12.0百万円

特殊製剤国内自給向上対策事業

【一般競争・随意契約】

F. 民間企業4社  
3.1百万円

フィブリノゲン製剤納入医療機関調査費

【企画競争】

G. 一般社団法人日本輸血・細胞学会  
7.6百万円

血液製剤使用実態調査事業

【企画競争】

H. 青森県合同輸血療法委員会 他9件  
6.8百万円

血液製剤適正使用推進普及事業

I. 委員等  
0.9百万円

委員会出席謝金及び旅費  
調査出張における委員旅費

J. 事務費  
13.9百万円

職員旅費、備品、消耗品費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立感染症研究所			E.日本赤十字社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	試験検査費	感染症安全対策体制整備事業	12.8	試験検査費	特殊製剤国内自給向上対策事業	12
	試験検査費	NATコントロールサーベイ事業	3			
	計		15.8	計		12
	B.日興美術(株)			F.(株)人材バンク		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	印刷製本費	献血についての副読本 印刷	8.5	雑役務費	フィブリノゲン製剤納入医療機関調査費	1
	計		8.5	計		1
	C.日本赤十字社			G.一般社団法人日本輸血・細胞学会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	試験検査費	特殊血液調査事業	1.6	雑役務費	血液製剤使用実態調査事業	7.6
	計		1.6	計		7.6
	D.福岡県			H.青森県合同輸血療法委員会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	試験検査費	高校献血教育推進事業	0.5	雑役務費	血液製剤使用推進普及事業	0.9
計		0.5	計		0.9	

### 支出先上位10者リスト

#### A.国立感染症研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立感染症研究所	感染症安全対策整備事業	12.8	-	-
2	国立感染症研究所	NATコントロールサーベイ事業	3	-	-

#### B.民間企業14社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日興美術(株)	献血についての副読本印刷	8.5	11	70.2%
2	サンテックサービス(株)	献血についての副読本梱包発送	4.2	5	92.2%
3	愛知県陶磁器工業協同組合	献血運動全国大会副賞(花瓶)購入	1.5	随意契約	-
4	(株)電通	愛の血液助け合い運動ポスター デザイン作成	1	随意契約	-
5	(株)電通	はたちの献血ポスター デザイン作成	1	随意契約	-
6	(株)電通	中学生用献血普及ポスター デザイン作成	1	随意契約	-
7	(株)内山回漕店	中学生用献血普及ポスター 梱包発送	0.8	随意契約	-
8	東京コロニー	はたちの献血ポスター 梱包発送	0.6	随意契約	-
9	安藤印刷(株)	献血運動推進全国大会 プログラム等印刷	0.6	随意契約	-
10	東京コロニー	愛の血液助け合い運動ポスター 梱包発送	0.6	随意契約	-
11	(株)太陽美術	中学生用献血普及ポスター印刷	0.5	随意契約	-
12	(株)アイネット	献血についての副読本印刷	0.4	随意契約	-
13	協進流通デベロッパ(株)	愛の血液助け合い運動ポスター 梱包発送	0.2	随意契約	-

#### C.日本赤十字社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	特殊血液調査事業	1.6	1	100%

#### D.都道府県7県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.5	-	-
2	愛媛県	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.5	-	-
3	福島県	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.5	-	-
4	京都府	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.3	-	-
5	岡山県	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.2	-	-
6	宮崎県	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.1	-	-
7	岐阜県	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.1	-	-

## E. 日本赤十字社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	特殊製剤国内自給向上対策事業	12	1	100%

## F. 人材バンク他3者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)人材バンク	フィブリノゲン製剤等に関する窓口業務	1	2	86.5%
2	(株)タフリュファイブスタッフサービス	フィブリノゲン製剤等に関する窓口業務	0.8	3	49.8%
3	(株)メディカル・アソシア	フィブリノゲン製剤等に関する窓口業務	0.7	随意契約	-
4	(株)最首総合事務所	フィブリノゲン製剤投与調査の集計業務	0.6	3	19.9%

## G. 一般社団法人日本輸血・細胞学会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本輸血・細胞学会	血液製剤使用実態調査事業	7.6	随意契約	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

## H.青森県合同輸血療法委員会他9件

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	青森県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.9	22	100%
2	山形県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.8	22	100%
3	石川県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	22	100%
4	新潟県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	22	100%
5	宮城県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	22	100%
6	茨城県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	22	100%
7	佐賀県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.6	22	100%
8	群馬県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.6	22	100%
9	岐阜県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.6	22	100%
10	福岡県合同輸血療法委員会	血液製剤適正使用推進普及事業	0.6	22	100%

## I.委員等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	血液実態調査(シンガポール)	0.3	-	-
2	個人B	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
3	個人C	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
4	個人D	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
5	個人E	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
6	個人F	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
7	個人G	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
8	個人H	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
9	個人I	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-
10	個人J	第16回献血推進運動中央連絡協議会出席旅費	0.1	-	-

## J.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	非常勤職員給与	3.5	-	-
2	非常勤職員B	非常勤職員給与	3	-	-
3	(株)リコー	消耗品購入	2.9	随意契約	-
4	職員	外国旅費	0.7	-	-
5	八重洲電気(株)	電話料金	0.3	-	-
6	八重洲電気(株)	電話移設工事	0.1	-	-
7	八重洲電気(株)	電話移設工事	0.1	-	-
8	(株)キャノン	複写機移設料	0.1	-	-
9	友愛	図書購入	0.1	-	-
10	(有)タケマエ	切手購入	0.1	-	-
11	(株)JCNT	外国出張時における携帯借料	0.1	-	-
12	扶桑速記印刷(株)	第16回献血推進運動中央連絡協議会録音速記	0.1	-	-